

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	4-	1	
事業名	税務経費	会計 一般	款 2	項 2	目 1
政策	4 持続可能な町の経営ができるために	課名	税務課		
施策	4-1 効率的行財政の運営	係名	課税係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民、納税義務者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	税に関する啓発、周知等により、理解と関心を高め、 税込確保に努める。
事業内容	統合型地理情報システム等を活用した効率的な窓口サービスを実施するとともに、関係機関と連携し、各メディア等を利用しての啓発及び情報提供を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
1	ホームページへの掲載情報	36	36		件	→	38	
2								
3								
4								
5								
		令和3年度 (決算)		令和4年度 (決算)		令和5年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B				8,234	8,075	9,107		
財源 内訳	直接事業費 A			4,238	4,211	4,715		
	うち一般財源			4,238	4,211	4,715		
人件費 (千円) B				3,996	3,864	4,392		
内訳	一般職員 (人・千円)	0.6	3,960	0.58	3,828	0.66	4,356	
	臨時職員 (人・千円)	0.02	36	0.02	36	0.02	36	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	今後も利便性の高い窓口サービスを継続的に実施するとともに、税に関する啓発、周知方法を検討し税込確保に努める。	③取組の課題	税制改正など税に関する啓発方法を再考する。
②R4年度に実施した取り組み	広報紙やホームページを活用し、税情報の啓発、周知に努めた。	④今後の改善計画	更に利便性の高い窓口サービスの充実及び電子化に取り組む。